

取り組み紹介【働きやすい職場づくり】

社会医療法人善仁会 宮崎善仁会病院

セル看護提供方式を参考に、看護の質向上と時間外勤務時間削減を実現



所在地：宮崎県宮崎市宮崎市新別府町江口950番地 1
病床数：199床（一般急性期）
職員数：504名 医師 45名（非常勤 9名）
看護師 221名
看護補助者 55名
医療技術職 109名
事務職 74名

課題・背景

急性期混合病棟では、入退院や手術・化学療法等で日々の業務量が多く、時間外勤務が慢性化していた。そのため、職員が疲弊し退職に繋がるケースがあった。過去に時間外勤務削減を目標に業務改善を行ったが、十分な成果が得られなかったことから、今回セル看護提供方式を参考に、業務改善に取り組もうと考えた

目的・目標

セル看護提供方式を参考に看護方式等を見直すことで、看護の質を向上させ時間外勤務を減らすことができる

取り組み内容

- セル看護チームの立ち上げと準備
 - セル看護提供方式の導入を目標に、1年前からセル看護チームを結成し、業務改善の準備を進めた
- 取組の柱となる3つの改善項目
 - タイムスケジュールの見直し
 - 既存のスケジュールをセル看護提供方式に適した形へ修正
 - 日勤帯の業務内容を時間ごとに明確化し、誰が見ても分かるように再作成・周知
 - 看護業務の「3つのムダ」を削除
 - 動線のムダ
 - 検温ワゴンの物品の充実
 - ラウンドする中間に物品棚を設置
 - 担当患者を隣接病室にまとめ、移動距離を短縮
 - 記録のムダ
 - 不要な個人記録を減らすためルールを再検討し周知
 - フローシートや看護計画を充実し、記録物を削減
 - 配置のムダ
 - 看護師一人あたりの受け持ち患者数を4人までとし、配置を最適化
 - スタッフ全員で均等に患者を担当
 - 日勤帯で「患者を受け持たない業務」を廃止
 - 常勤・時短・早出・遅出など勤務形態に関係なく全員が患者を受け持つ体制へ変更



患者8名⇒早出・遅出勤務者2名でペアを組み、業務を引き継ぐ。

成果・効果

- 時間外勤務の削減
 - 導入前平均10時間/月 → 2~3時間/月 へ
- 看護の質の向上
 - 一人の受け持ち患者が4人までとなり、ケアの時間が増え、患者と向き合う時間が増えた。また、在室時間が増えたことがナースコール軽減に繋がっている
 - 業務内にOJTで職員の教育・指導が行えるようになった
- 業務における視野が広がり、配薬方法や物品管理、タスクシフト等他の業務改善につながった

VOICE みんなの声

- 以前に比べ残業が減った。
- 業務の動線が短くなり動きやすくなった。
- 看護方式を変更して当初は何をどうして良いかわからなかったが、今では残業が減りプライベートの時間が確保出来るようになった。